

社会教育振興に寄与された功績を讃えて



長年、地域社会の発展と生涯学習事業の推進に尽力されたことが認められ、社会教育委員の安居明美さん（字上トマム）に『永年勤続功労社会教育委員表彰』が贈呈されました。

安居さんは、平成17年から社会教育委員として活動を開始。3度の社会教育中期計画策定に関わるなど、社会教育の振興に尽力しました。

業務が多忙であったにもかかわらず、地域行事や学校支援活動、子ども向けスポーツ教室の運営協力などに携わり、地域コミュニティの醸成に大きく貢献された安居さん、このたびは誠におめでとうございます。

トマム町内会防災訓練の実施



10月20日（土）、トマム町内会主催による『平成30年度 トマム町内会防災訓練』がトマムコミュニティセンターで実施されました。

近年では、大雨による災害が多く発生し、避難生活を余儀なくされることも少なくありません。今回の防災訓練は、大雨により長時間にわたって避難しなければならない状況を想定して実施しました。

長期間にわたる避難生活において、個人の生活スペースを確保できなかつたり、満足な炊き出しを受けることが出来ない状態は、非常に大きなストレスとなります。防災訓練では、避難生活中のストレスの軽減を図るためのパーソナルスペースの確保や災害時をイメージした炊き出し訓練を実施。参加者にとっては、避難所生活の雰囲気や避難者の心情を理解するきっかけとなりました。

いつも地域にご協力いただきありがとうございます。



11月1日（木）、占冠村内で地域貢献活動を実施した大北土建工業株式会社（荒木毅代表取締役社長）に対して、占冠村教育委員会より感謝状が贈呈されました。同社には、占冠中央小学校の架線枝払いやトマム学校の窓ガラス清掃にあたり、多大なご支援を賜りました。

また、第38回占冠村紅葉まつりでは、会場設営、撤収作業などで、株式会社川端組（蛸崎武代表取締役）のご協力をいただきました。おかげさまで、今年の占冠村紅葉祭りも無事終了することができました。

両社の地域貢献活動に心より感謝申し上げます。

【フード・アクション・ニッポンアワード2018で選出されました】

占冠村産メープルシロップ「トペニワッカ」が、「フード・アクション・ニッポンアワード2018」で、「受賞」10産品に選定されました。



「フード・アクション・ニッポンアワード」とは、農林水産省が主催する国産農林水産物の消費拡大に寄与する事業者・団体等の優れた取組や産品を表彰する制度で、今年度で10回目を迎えます。

今年は、全国から1,125品の応募があり、一次審査で「入賞」に選出された100産品の中から、10月23日に東京で行われた最終審査会において、アワード受賞10産品が決定されました。

最終審査員は、国内大手流通、外食、百貨店のトップ10人で、「ぜひ自社で販売したい」と感じた商品の一つずつ選出。審査の結果、占冠村産メープルシロップ「トペニワッカ」は、大手通販会社のアマゾンジャパン合同会社選ばれ、表彰されました。

「トペニワッカ」は、アマゾンとの取引が決定し、現在アマゾンのwebサイトで販売が開始されています。

【糖尿病講演会】



10月25日(木)、占冠村コミュニティプラザにて、『糖尿病講演会』が開催されました。

糖尿病とは、血糖値が高い疾患のことで、神経や目、腎臓などに様々な障害を起こすことで知られています。視力障害等の症状は、失明や透析に至る寸前まで出現しないことが多いため、自覚症状がなく、病状が進行していることも少なくありません。

参加者は、『食事バランス』『早食いがよくない理由』『日常での運動』など普段の生活習慣を見直す良い機会となりました。

【コミュニティ・スクール議会】



11月9日(金)、占冠村総合センター3階議場にて、村内中学生が政策提案や質問をする『コミュニティ・スクール議会』が開催されました。

『村営バスの運行について』『交通安全・交通マナーについて』『小中学生の文化活動について』『公設学習塾ステップアップサポートゼミについて』など、コミュニティ・スクール議会議員(村内中学生)は、生まれ育った占冠村をより良くするために、村の将来を思って質問しました。

コミュニティ・スクール議会議員が用意した質問は全部で10件。それぞれの質問に対して、村議員はコミュニティ・スクール議会議員が現状で困っていることを聞き取り、解決方法を考え答弁しました。